

## 2019年度 第1回基礎学習理論研究会概要報告

奈良教育大学 中澤静男

- ◇開催日時 2019年4月3日(水) 19時30分～22時
- ◇会場 中澤研究室
- ◇参加者 青山・河野・中澤哲・新宮・蔵前・中澤敦・島・中澤静
- ◇内容 スペシャリストの考察の相互検討

### 1. 「信貴山縁起をよむ」中澤哲也(平郡北小学校) 考察の様式について

- ・7. 成果を成果と課題とする
- ・成果と課題に(1)地域連携について(2)児童の変容を①ESDの視点、②資質能力、③価値観、(3)SDGsとの関連で整理する。
- ・地域連携とのよさを学校側にとりだけでなく、地域にとってもよかったという考察をするためにも、関わった高齢者の方々からもアンケートをとるとよい。



### 2. 「わたしたちの生活をよりよくする政治」島俊彦 (郡山西小学校)

- ・ESDの実践報告なので、(1)ESDで育てたい視点などの小項目(見出し)をつくり、その中に①相互性について、などを書いてまとめるといいのでは。
- ・【システムズシンキング】【協働的問題解決力】のところについて。1対1対応ではなく、それぞれの取組が関連して、よりよい街づくりになるので、総合してはどうか。
- ・相互性の具体例に次のページの記事を入れる。

### 3. 「これからの食料生産とわたしたち」新宮済(奈良市立平城小学校)

- ・児童の変容のまとめかた
- 児童の変容について、次の3点から考察する。1つ目にESDの視点に関して、2つ目に価値観の変容について、3つ目に深い学びと行動の変革についてである。

(1) ESDに関して

(2) 価値観の変容について

(3) 深い学びと行動の変革について

①深い学びをもたらすグループ学習

②深い学びをもたらす「あこがれ」 という感じでまとめる

### 4. 「昔の道具と人びとの暮らし」蔵前拓也(広陵町立真美ヶ丘第一小学校)

- ・ESDの観点に対応する形で考察する
- ・開発者さん・学芸員さんの実名を入れる
- ・5行目までを残し、この学習について次の4つから考察する。1つ目にESDの視点について、といった感じで考察を加える。

5. 「日本の食糧生産」河野晋也（附属小学校）

- ・ 3つ目の批判的思考に焦点化して考察する。1つ目と2つ目は省いてもよい。
- ・ 地産地消に取り組む農家を他の言葉に変える
- ・ きれいごとで終わらせないということが重要であること。そのためには、自己の価値観・行動に対する批判的思考が必要。

次回は5月9日（木）19時から開催します。